

岡山市行財政改革推進プランに基づく 事務事業チェックの実施

岡山市行財政改革推進プラン(平成29年3月策定)に基づき、事務執行の最適化と市民サービスの向上を図っていくため、既存事業の見直しや事務の改善を検討する「事務事業チェック」を実施しました。

**令和2年度「事務事業チェック」の結果
【効果額】約2億7千万円**

<主な取組>

●歳入の確保

- 企業版ふるさと納税
- 公園トイレのネーミングライツ導入
- LINEスタンプの販売 等

●歳出の見直し

- 既存の事務事業の見直し(事業スクラップやコスト縮減等)
- 電気購入に係る入札の実施

●ICTやBPR手法等を活用した 業務の効率化と市民サービスの向上

- 端末操作を自動化するRPAツールの導入

●官民の役割分担の見直し

- 岡山北斎場での指定管理者制度の導入 等

●ワーク・ライフ・バランスの推進

- テレワークの試行

※関連取組

●一般競争入札による未利用地の売却(約1億4千万円)

- 市営門田白鳥住座跡地の売却 等